

●放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）量の見込みの補正方法

（例）片山津中学校区の算出例

1. 年度ごとに1施設当たりの低学年・高学年の平均利用者数を算出する。

（例）平成22年度の利用者数（低学年）は、学童クラブいなみえんが32人、こほく学童クラブが25人、金明学童クラブが13人となっており、3施設の合計は70人である。よって1施設当たりの平均利用者数は、70人÷3施設=23.333…人となる。

年度	21年度 (低学年)	21年度 (高学年)	22年度 (低学年)	22年度 (高学年)	23年度 (低学年)	23年度 (高学年)
学童クラブいなみえん	32	5	32	5	35	5
こほく学童クラブ	23	2	25	4	24	4
金明学童クラブ			13	0	17	0
施設毎平均利用人数	27.500	3.500	23.333	3.000	25.333	3.000
年度	24年度 (低学年)	24年度 (高学年)	25年度 (低学年)	25年度 (高学年)	26年度 (低学年)	26年度 (高学年)
学童クラブいなみえん	34	2	37	1	41	2
こほく学童クラブ	29	2	40	3	44	3
金明学童クラブ	11	1	11	1	15	5
施設毎平均利用人数	24.667	1.667	29.333	1.667	33.333	3.333

2. 年度ごとの利用者数の推移から、前年度の利用者数の割合を100%としたときの求めたい年度の利用者数の割合を算出する。また、21年度から26年度までの前年度に対する平均割合を算出する。

（例）平成21年度の平均利用者数（低学年）は27.5人、22年度（低学年）は23.333…人となっている。21年度の利用者数を100%としたとき、21年度に対する22年度の利用者数の割合がどれだけになるかを求めるには、22年度の利用者数を21年度の利用者数で割ればよいので、

21年度に対する22年度の利用者数の割合=23.333…人÷27.5人=0.84848…=84.848…%となる。

（例）低学年の前年度に対する平均割合は、21年度から26年度までの利用者数の割合を6年で割って算出する。

(100.0%+84.848…%+108.571…%+97.368…%+118.918…%+113.636…%)÷6年=103.891…%

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
低学年年度毎平均利用人数	27.500	23.333	25.333	24.667	29.333	33.333
高学年年度毎平均利用人数	3.500	3.000	3.000	1.667	1.667	3.333

（2）表2から、前年度を100%としたときに求めたい年度が前年度に対して何%か算出する。

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	前年度に対する 利用者数の 平均割合
前年度に対する低学年の利用者割合	100.000%	84.848%	108.571%	97.368%	118.919%	113.636%	103.891%
前年度に対する高学年の利用者割合	100.000%	85.714%	100.000%	55.556%	100.000%	200.000%	106.878%

平成21年度を100%としたときの平成21年度に対する平成22年度の割合
=平成22年度の平均利用人数÷平成21年度の平均利用人数=23.333…人÷27.5人=0.84848…=84.848…%となる。

3. また、人口推移（推計）から低学年、高学年の人口の変化率を算出する。

（例）平成27年度の前年に対する人口の変化率（低学年）は、27年度の6歳から8歳までの人口を26年度の6歳から8歳までの人口で割って算出する。

平成26年度に対する27年度の人口の変化率（低学年）=27年度の低学年の人口÷26年度の低学年の人口
=(78.281…人+75.991…人+78.281…人)÷(76.564…人+78.138…人+81.429人)
=98.485…%

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
6歳	76.564	78.281	74.560	68.120	67.405	65.544
7歳	78.138	75.991	77.708	73.988	67.548	66.832
8歳	81.429	78.281	76.134	77.852	74.131	67.691
9歳	80.857	81.000	77.852	75.705	77.422	73.701
10歳	78.173	76.408	76.544	73.558	71.523	73.151
11歳	74.780	77.901	76.137	76.273	73.287	71.251
低学年の人口変化率	-	98.485%	98.215%	96.303%	95.055%	95.688%
高学年の人口変化率	-	100.642%	97.970%	97.833%	98.535%	98.142%

平成27年度の低学年の人口変化率
=平成27年度の低学年の合計(6歳から8歳)÷平成26年度の低学年合計(6歳から8歳)

4. 利用者数の量の見込みを求めたい年度の前年度の利用者数に「前年度に対する利用者数の平均割合」と「人口の変化率」をかけて、平成27年度から31年度までの量の見込みを算出する。

（例）27年度の利用者数の量の見込み（低学年）は、前年度である26年度の利用者数の実績に「前年度に対する利用者数の平均割合」と27年度の「人口変化率（低学年）」を掛けて算出する。

27年度の量の見込み=26年度の利用者数の実績×前年度に対する利用者数の平均割合×27年度の人口変化率

=100人×103.891…%×98.485…%≒102人

年度	実績 (26年度)	1年目 (27年度)	2年目 (28年度)	3年目 (29年度)	4年目 (30年度)	5年目 (31年度)
低学年の量の見込み(人)	100	102	104	104	103	103
高学年の量の見込み(人)	10	11	11	12	12	13
量の見込みの合計(人)	110	113	115	116	115	116

平成27年度の量の見込み
=平成26年度の利用者数×前年度に対する利用者数の平均割合×平成27年度人口の変化率